

令和7年度県民芸術劇場君津公演

千葉交響楽団 演奏会

指揮

山 下 一 史

Kazufumi Yamashita

ピアノ

ギグラ・カツアラヴァ

Guigla Katsarava

管 弦 楽

千葉交響楽団

Chiba Symphony Orchestra

2025年10月19日〈日〉

君津市民文化ホール

大ホール

開場 13:15 / 開演 14:00

主催：千葉県／公益財団法人君津市文化振興財団／虹の音楽会

後援：安房・上総地区吹奏楽連盟／株式会社コンドー楽器

PROGRAM

ウェーバー Carl Maria von Weber

歌劇「魔弾の射手」より序曲 作品77

Overture to the Opera Der Freischütz, Op.77

ラフマニノフ Sergei Rachmaninoff

ピアノ協奏曲第2番 八短調 作品18

Piano Concerto No. 2 in C minor, Op.18

第1楽章 モデラート、八短調、2/2 拍子、ソナタ形式

Moderato, C minor, 2/2 (Alla breve), Sonata form

第2楽章 アダージョ・ソステヌート、ホ長調、4/4 拍子、3 部形式

Adagio sostenuto, E major, 4/4, Three-part form

第3楽章 アレグロ・スケルツァンド、八短調→八長調、2/2 拍子、ロンド形式

Allegro scherzando, C minor → C major, 2/2 (Alla breve), Rondo form

休憩

Intermission

作曲：ムソルグスキー Modest Petrovich Mussorgsky

編曲：ラヴェル Joseph-Maurice Ravel

組曲「展覧会の絵」

Pictures at an Exhibition (Suite)

第1曲 〈小人〉

Gnomus

第2曲 〈古い城〉

The Old Castle

第3曲 〈テュイルリー〉

Tuileries

第4曲 〈ビドロ〉

Bydlo

第5曲 〈卵の殻をつけた雛鳥の踊り〉

Ballet of the Unhatched Chicks

第6曲 〈サミュエル・ゴールデンベルクとシュミユイレ〉

Samuel Goldenberg and Schmuyle

第7曲 〈リモージュの市場〉

Limoges, The Market

第8曲 〈カタコンブ〉

Catacombs

第9曲 〈鶏の足の上に立つ小屋〉

The Hut on Fowl's Legs

第10曲 〈キーウの大門〉

The Great Gate of Kiev



©ai.ueda

1977年桐朋学園高校音楽科に入学。チェロを井上頼豊氏に、指揮を尾高忠明、小澤征爾、秋山和慶、森正の各氏に師事。

1984年桐朋学園大学を卒業後、ベルリン芸術大学に留学。

1986年ニコライ・マルコ国際指揮者コンクールで優勝。

1985年12月からカラヤンが亡くなる1989年まで彼のアシスタントを務めた。1986年ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団の演奏会で、急病のカラヤンの代役として急遽ジーンズ姿のまま「第九」を指揮し、話題となる。以来、ザルツブルク・フィングステン音楽祭でカラヤンのスタンバイ指揮者として契約。その後、ヘルシンボリ交響楽団（スウェーデン）の首席客演指揮者を務めた。

日本国内では1988年にNHK交響楽団を指揮してデビュー。オーケストラ・アンサンブル金沢プリンシパル・ゲスト・コンダクター、九州交響楽団常任指揮者、大阪音大ザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団常任指揮者、仙台フィルハーモニー管弦楽団指揮者、同団正指揮者を歴任。

また、東京藝術大学音楽学部指揮科教員として後進の育成にも心血を注ぐ。

現在、千葉交響楽団音楽監督、愛知室内オーケストラ音楽監督、大阪交響楽団常任指揮者、大阪音大ザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団名誉指揮者。

ギグラ・カツアラヴァ Guigla Katsarava ピアノ



旧ソ連邦ジョージア生まれ、チャイコフスキー記念国立モスクワ音楽院を最高位のクラヌイ・ディプロムを受賞して卒業、その後ドイツ、ヴァイマル・フランツ・リスト音楽大学にてラザール・ベルマンの薫陶を受け、最高位のコンサート・ディプロムを取得して卒業、同時にパリ国立高等音楽院第三課程を修了。2001年よりパリ・エコールノルマル音楽院ソロ・ピアノ科教員を勤め、2022年から東京音楽大学ピアノ科特任教授。

教育者として現在活躍中の数多くのピアニストを世に送り出す傍ら、演奏家としてはヨーロッパを中心にアメリカ、日本、韓国、ベトナム、イスラエル、ブラジルなどで数多くのリサイタルを行うとともに、室内楽、オーケストラと共演している。経歴からうかがえるように、あらゆる西洋音楽に精通している。

同時にアレクサンドル・スクリャービンのピアノズムに興味と愛着を持っている。

ミュンヘン王宮レジデンス（ドイツ）、セシリア・メイレスコンサートホール・リオデジャネイロ（ブラジル）、カサ・ミラ（スペイン）、サル・コルトー（フランス）等でソロリサイタルを行う。

国際的な器楽奏者との共演ではGérard Poulet（ジェラルド・プーレ／ヴァイオリニスト）、Philippe Muller（フィリップ・ミュラー／チェリスト）、アルペジオオーネ四重奏団などを始めとし、中でもヴィクトール・ユズールと共演したプロコフィエフのチェロソナタは、アメリカパブリック国立ラジオ番組“Performance today”に選出された。

千葉交響楽団

Chiba Symphony Orchestra

管弦楽



千葉交響楽団は、1985年に「ニューフィルハーモニーオーケストラ千葉」として発足以来40年間、県内唯一のプロのオーケストラとして、音楽文化の創造・発展を使命とし、地域に根差した音楽活動を続けています。

定期演奏会・特別演奏会をはじめ、県民芸術劇場や各地での演奏会など、毎年およそ50回のコンサートで演奏し、千葉県の音楽文化の向上に努めています。また、千葉県及び各市町村教育委員会との共催事業である「小中高等学校音楽鑑賞教室」や特別支援学校への訪問演奏を、年間100校ほど実施し、児童生徒に生のオーケストラの持つ素晴らしいハーモニーと迫力を届け、音楽教育にも多大な貢献を果たしています。

2016年4月からは山下一史氏を音楽監督に招聘し、同年10月に名称を千葉交響楽団に改め、同氏の指導のもと演奏水準のさらなる向上に取り組み、その新鮮で熱気あふれる演奏は高い評価を得ています。

より多くの千葉県民に「おらがまちのオーケストラ」と親しみを持って呼ばれ、県民が誇れるオーケストラを目指して着実に歩みを進めています。

令和5年度より新たに君津市でも定期公演を始めました。

【公式ホームページ】 <http://chibakyo.jp/>